

すいよう
水墨画「翠陽会」講師

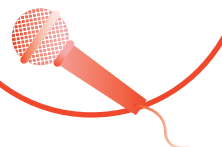
おかだともみ
岡田 知美さん

[東結上村地区]

水墨画の講師として、町内外で活躍されている岡田さんにお話を聞きました。

(10月1日)

聞き手/岩田 讓治
渡邊 裕光



墨と水の融合と筆さばき(用筆)によって表現する芸術「水墨画」の伝統的な技法を習得し、教室・地域の講座・学校などで、その素晴らしいさや楽しさを教えていらっしゃいます。

——水墨画を始めたきっかけは。

岡田さん 偶然水墨画の先生とお話する機会があり、少しやってみよう、軽い気持ちで始めました。特に絵を描くことに興味があった訳でもなく、「いつやめてもいいや」という気持ちでした。

——どれくらいから水墨画に心酔しましたか。

岡田さん 始めてみて、全くできないことに驚

きました。最初に曲線を学ぶために「蘭」を習うのですが、手は震えるし、線はガタガタで何度かいてもお手本のようにはかけません。大変なことを始めてしまったと思います。

それでも、先生の指導を受けながら、展覧会に出展したり、知識を学ぶうちに入り込んでいきました。転機になったのは講師になつてからです。教えるために更なる技術の向上をし、線をかくための筆の動かし方を論理的に指導できるよう心掛けました。生徒のときよりも練習量が増えました。

——水墨画への思いは。

岡田さん 水墨画は奥が深く、追求するにつれ、もっと知りたいという思いにかられています。また、水墨画を通じていろいろな人たちとのつながりができ、世界が広がりました。

——行政に対して一言

岡田さん 新型コロナウイルスの影響で外出自粛とな

って、年配の方がいかに寂しい思いをしているかを感じました。文化・芸術はコミュニケーションを図る担い手となつていっていると思います。孤立化を防ぐためにも、人々が集いやすい場を作る仕組みを構築してください。



熱心に指導をする岡田さん(左)



表紙の題字「あんばち」は
よしだゆら
東安中3年 **吉田夢来** さん
の作品です

自治功労者表彰

10月7日(水)、岩田讓治議員が県町村議会議長会から議員在職12年以上として自治功労者表彰を受けました。



市町村議会議員セミナーを受講

8月28日(金)、「自治体の防災マネジメントと災害時の議会・議員活動」を受講し、災害発生時の議会の対応について学びました。



講演する 鍵屋 一(かぎや はじめ)氏
(跡見学園女子大学教授)

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

「少しでも見やすい議会だより」を常に追い求め、編集作業に取り組んでいます。
(岩田 讓治)

編集委員

委員長	岩田 讓治
副委員長	大平 文雄
委員	渡邊 明博
	坂 悟
	渡邊 裕光

紙面の都合上、全議論等を掲載できませんので、抜粋しています。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

TEL **0584-64-4931**

FAX **0584-64-5011**

E-mailでも受け付けています。
gikai@town.anpachi.gifu.jp